

第六次 青梅市生涯学習推進計画

平成31(2019)年度～平成35(2023)年度

ともに 学んで
生きる まち



平成31年3月 青梅市生涯学習推進本部

生涯学習の推進に向けて

少子高齢化の進展、産業構造の変化、情報通信技術の急速な進展、グローバル化の進展など、近年の社会情勢の変化の中で、人々の価値観は多様化・多元化してきています。

このような社会状況の中、第6次青梅市総合長期計画で示された将来都市像である「みどりと清流、歴史と文化、ふれあいと活力のまち 青梅」をいかに実現していくかが課題となっています。

今回策定した「第六次青梅市生涯学習推進計画」では、第五次計画を引き継ぎ、市民が生涯を通じ、主体的に学習機会を選択して学び、その成果を社会に生かしていくことができる「ともに学んで生きるまち」を目指すこととしました。

今年、青梅市文化交流センターが、新しい生涯学習の拠点として開館します。生涯学習事業としては東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に関連したイベントや文化プログラム等も多数企画され、生涯学習の環境はますます充実していきます。一方で青梅市には、歴史・伝統・文化資源が豊富にあります。市民一人ひとりがこれらを活用することで、生涯にわたっての学びと、充実した人生を送ることが望まれます。

幅広い世代の皆様が、健康で生きがいを持って生活するため、生涯学習を通して、地域でのつながりを築き、地域生活に主体的に取り組むことができるよう支援してまいります。

本計画策定にあたって、御尽力いただきました青梅市生涯学習推進市民会議委員の皆様をはじめ、市内生涯学習関係機関・団体等、貴重な御意見をいただきました市民の皆様に、心から感謝を申し上げます。



今後、本計画にもとづき、生涯学習の充実を図ってまいりますので、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

平成31年3月

青梅市長 浜中 啓一

目 次

第1章	計画の策定	1
1	計画策定の趣旨	1
2	計画の期間	1
3	計画の指針	1
4	計画の視点	1
5	計画の位置づけ	2
6	計画の範囲	2
第2章	生涯学習の背景と動向	3
1	生涯学習とは	3
2	国・都の動き	4
3	青梅市の生涯学習	7
第3章	青梅市の特徴と現状	12
1	人口構成	12
2	学習環境と学習ニーズ	13
第4章	生涯学習推進の目標と基本方針	15
1	目標	15
2	基本方針	16
	スローガン	17
	生涯学習推進の目標・基本方針図	18
第5章	施策の展開	19
	青梅市の生涯学習推進の目標・基本方針・基本的施策体系図	19
第1節	生涯学習の基礎づくり	21
第2節	生涯学習の場と機会の拡充	25
第3節	自主活動の支援 地域づくりは市民の活動から	33
第4節	学習情報提供と学習相談の充実	36
第5節	生涯学習推進体制の確立	38

※ 第 5 章各節の主な施策の方向に、【関連する主な事業例】を掲載していますが、平成 30 年 8 月 3 日～9 月 5 日に行った「第六次青梅市生涯学習推進計画事業計画報告書」調査に御回答いただいたものを一部抜粋したものです。調査の集計結果は、49 ページに掲載しています。なお、担当課名は、平成 31 年 4 月 1 日時点のものです。計画期間中に組織改正等により、担当課が変更になった場合は、対応する担当課名に読み替えるものとします。

参考資料	4 1
1 青梅市生涯学習推進市民会議設置要綱	4 2
2 青梅市生涯学習推進市民会議委員名簿	4 3
3 青梅市生涯学習推進本部設置要綱	4 4
4 青梅市生涯学習推進本部構成員名簿	4 6
5 青梅市生涯学習推進本部庁内推進会議構成員名簿	4 7
6 青梅市生涯学習推進市民会議・青梅市生涯学習推進本部・庁内推進会議開催経過	4 8
7 「第六次青梅市生涯学習推進計画事業計画報告書」調査、集計結果	4 9

【新元号の記載について】

本計画では、「平成」と表示していますが、改元後については、次のとおり読み替えるものとします。

西暦	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
平成	平成 31 年	平成 32 年	平成 33 年	平成 34 年	平成 35 年
新元号	※元年	2 年	3 年	4 年	5 年

※2019 年は、4 月 30 日までは平成、5 月 1 日以降は新元号